

第6回夏のオンライン高校生文学模擬裁判交流大会 実施要項

オンライン高校生文学模擬裁判交流大会実行委員会

主催：龍谷大学札幌研究室・オンライン高校生文学模擬裁判交流大会実行委員会

後援：一般社団法人刑事司法未来、龍谷大学法情報研究会、京都教育大学附属高等学校模擬裁判同窓会、株式会社TKC、刑事弁護オアシス

1 本大会のねらい

- ①人間や社会への眼差しを深める文学模擬裁判を味わう機会を提供する。
- ②文学模擬裁判に取り組む高校生の交流を図る。
- ③18歳からの裁判員を見据えつつ、勝敗だけでなく、教材の持つテーマについて参加者全員が対話して市民性を養い、問題意識を深める場とする。

2 日時場所

2024年8月9日(日) 9時半～17時半(予定) 法廷：札幌研究室および各自宅、学校(ZOOM)

3 出場校(6校程度募集) *6校に達した時点で締め切り

4 競技方法

- ・参加校は予め配布される文学作品をモチーフとした教材、関連資料をもとに、参加校が検察側・弁護側どちらかの立場に立って立証・弁護活動を行う、シナリオ創造型の模擬裁判である。
- ・参加校は決められた時間に従い、立証・弁護活動を行い、審査員がそれらの内容を評価して、その総合点で勝敗を決める。得点の高い順から優勝校・準優勝校を決める。また法廷ごとにMVPを選出する。
- ・今回の文学作品は松本清張『相模国愛甲郡中津村』及び『不運な名前』である。

5 採点基準

読解力、人間や社会への洞察力、論理性、表現力等の視点から採点する。

***裁判官は伊東隆一氏(京都弁護士会)、浅見悠地氏(大阪弁護士会)、札幌和男(龍谷大学)の3名が務める。**

6 各チーム人員

1試合に必要な生徒数は、検察側・弁護側いずれの立場でも最低3名(2名の例外も認める)、最大7名とする(証人役、被告人役は生徒が行う。検察官役、弁護人役の生徒は証人役あるいは被告人役を兼ねることはできない)。

7 費用

参加費は無料。

8 準備活動について

- ・参加校確定後、教材及び具体的なルールや実施方法を配信し、争点についての立証・弁護方針を定め、証人尋問・被告人質問の準備をする。
- ・模擬裁判初心者でも、模擬裁判を行うにあたり必要事項を学ぶ機会を設ける。大会前まで週末に事前講義をZOOMで3回程度配信する。できる限り参加することを求める。参加できなかった高校には録画を送付するなど補填できるようにする。また初めて模擬裁判に参加するにあたって準備するためのサポート体制(諸国漫遊制度：オンラインでその学校の都合に合わせて指導に赴く仕組み)を敷く。
- ・参加校は8月2日(日)までに出場選手名(チームメンバー名・役割)を主催者(札幌)まで連絡する。

9 当日の試合予定時間

9時30分～11時30分 第1試合

(休憩50分)

12時20分～14時20分 第2試合

(休憩 25 分)

14 時 45 分～16 時 45 分 第 3 試合

17 時頃 講評、振り返り交流、成績発表、表彰式

※試合状況により、時間変更の可能性あり。

10 次の条件を満たすこと。

- ①原則として学校長の許可を得ること（ただし学校単位ではなく個人で参加を希望する場合、あるいは人数が 3 名に満たない場合、別途相談の上、参加を認めることがある）。
- ② 趣旨（ねらい・研究の一環であること）に賛同できること。
- ③ ZOOM を利用できる環境を準備できること。
- ④ 保護者の同意を得ていること。

11 その他

- ・免責事項について、準備授業や当日の試合のレコーディングを行うが、その使用については研究および教育活動以外には使用しない（肖像権について差支えある場合は事前に連絡のこと。可能な限りの対応を考える）。
- ・教員に引率の義務は発生しない。
- ・科研費採択研究テーマ（C）「文学を題材とする日米の模擬裁判を活用した 18 歳裁判員教育に有効なメソッドの開発」の一環として実施する。参加校にテーマに関する調査協力を求めることがある。

問い合わせ

〒600 - 8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町 125 - 1 龍谷大学大宮キャンパス西翼 129 号室

札幌研究室 宛 TEL 075 - 343 - 3326（研究室直通）E-mail: fudafuda@let.ryukoku.ac.jp

* 本研究は、JSPS 科研費 JP 25K06287 の助成を受けて実施しています。